



第20回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞受賞 都市部の子育て世代に向けた、主体的な遊びを促す空間構成が評価 屋内こども広場「まちなかの森 もっくる」

株式会社ジャクエツ（本社：福井県敦賀市／代表取締役社長：徳本達郎）が設計施工した『屋内こども広場「まちなかの森 もっくる」』が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催（後援：経済産業省・内閣府・消費者庁・こども家庭庁・東京都）の第20回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞を、感性・創造性育成部門において受賞しました。

本施設は、茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」内に位置し、茨木市を事業主体として、岩瀬諒子設計事務所が設計、株式会社明日香が運営、弊社が設計施工を担っています。

今回の受賞は、岩瀬諒子設計事務所・茨木市まち森AJグループ（株式会社明日香・弊社が参画する共同事業体）の共同受賞となります。

感性・創造性育成部門 第20回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞受賞

【受賞理由】

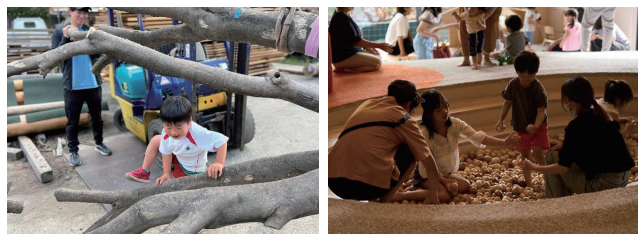
都市部の屋内型施設だが、多様な樹木の遊具に触れあいながら五感を刺激し、主体的な遊びを促す空間構成は、都市部の子育て世帯にとって貴重なインフラとなるだろう。洗練された意匠と機能性が高次元で融合し、子どもの創造性を豊かに育む施設である点を評価した。



【まちなかの森 もっくるについて】

「まちなかの森」をコンセプトに、木の香りやぬくもりを感じながら、子どもたちが自由に遊べる屋内こども広場です。地域の公園再整備で発生した伐採木を遊具として活用し、起伏のある地形や樹木を取り入れた、多様なあそびが生まれる空間で子どもだけでなく、保護者や地域の人々が自然と集い、交流できる場を目指しています。

詳細について
以前のプレスリリースはこちら



▲子どもたちに協力を得て行ったワークショップと安全検証。この過程を経て子どもが認知できるリスクを検証する事ができました。

▲様々な種の伐採木でつくられたボールプール。自然と保護者同士の関わりも生まれます。

【伐採木遊具の実現プロセス】

自然木は、腐朽状態や強度の確認が難しく、活用には様々な課題がありました。そこで、伐採対象179本のうち45本・23種を3m程度に切り分け、状態や形状を確認。3Dスキャンによる構造分析や安全検証を重ね、大木の幹は大型遊具に、枝や若木などは手遊び遊具やボールプールのボールなどに加工しました。樹木のさまざまな部位を、それぞれの特性に合わせて空間全体に活用しています。

【株式会社ジャクエツ】

1916年創業。「未来は、あそびの中に。」をスローガンに掲げ、企画・コンサルティングから設計、施工、運営管理まで、地域社会や施設の課題解決に向けたサービスをワンストップで提供する。近年は包括連携協定の締結やPark-PFI事業への参入など、あそびの視点を活かしたまちづくりに取り組む。質の高いあそびの環境をデザインすることで、子どもたちの成長とともに大きく花開いていく「未来価値」を創造し続ける。

【お問い合わせ】

株式会社ジャクエツ

東京都港区高輪4丁目24-50

TEL:03-3442-2260／FAX:03-3442-2261

MAIL:press@jakuets.co.jp

広報担当者にご連絡ください。